

# 事務事業名 防犯灯維持管理事業

政策:02 住みやすい環境と安全なまちづくり

施策:06 防犯対策の充実

部名:市民部

基本事業:03 犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の整備

課名:市民課

計画年度	年度 ~ 年度	事業区分	継続	会計区分	普通会計	
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民</li> <li>既設防犯灯</li> </ul>		夜間における犯罪の防止をはかり、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、防犯灯の設置及び維持管理を行いました。 《新規設置》 78基（蛍光灯32基、LED灯46基） 《修繕》 1,751箇所 《電気料金》 23,515,688円				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）				
夜間における危険箇所の暗がり解消され、市民の安全が確保される。						
4 活動指標・成果指標・事業費の推移						
区分	指標名称	単位	20年度実績	21年度実績	22年度当初	25年度目標値
活動指標	防犯灯整備数	基	142	222	136	130
活動指標	防犯灯修繕数	基	1,539	1,751	1,500	1,400
成果指標	防犯灯整備（新設、移設、灯具交換）要望対応率	%	96.60	94.07	100	100
成果指標						
事業費		千円	40,699	35,684	38,289	
		うち一般財源	千円	40,699	35,684	38,289
5 目的妥当性						
法定受託事業である（根拠法令） 妥当である 妥当性が低い		防犯灯により危険箇所や暗がりをなくすことで、犯罪が起きにくい環境が整い、犯罪被害に遭わない、起こさせないことに結びつく。				
6 上位の基本事業への貢献度						
貢献度大きい（理由） 貢献度ふつう（理由） 貢献度小さい（理由） 基礎的事務事業		地域が安全で安心した生活環境を整えていくことは、基本計画で掲げている安全で安心なまちづくりの実現に繋がるものであり、上位施策への貢献度は大である。				
7 対象や意図の妥当性、費用対効果の検討						
対象や意図を見直し、費用対効果を上げることができる 対象や意図の見直しはできない その他		防犯灯設置・維持による暗がり解消、ひいては防犯につながるものであり、見直しはできない。				
8 有効性（成果状況）						
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない		<成果状況>平成20年度に防犯灯設置要綱を改正し、高価な水銀灯の設置を止め、廉価で照度のある蛍光灯（32w）に変更したことで、要望対応率は増加している。 <成果向上余地>要望対応率の現状から、成果向上の余地は小さいと思われる。				
9 有効性（成果向上余地）						
成果向上余地・大 成果向上余地・中 成果向上余地・小・無し						
10 事業の再編成						
類似の事業があり、再編成できる 類似の事業はあるが、再編成できない 類似の事業はない						
11 効率性（コスト削減の方法）						
ある ない		電気料金の値上げについては不明確であるが、40w・80w・100wの既設水銀灯を同程度の明るさが保てる32w蛍光灯やLED灯に交換することで電気料金の削減ができる。				